

分離技術会年会 2025 特別セッション

「多様なプロセスを支える分離技術」

2025年10月31日（金） 13:20 – 17:40

日本大学理工学部駿河台校舎（東京都千代田区）

分離技術は、各種の分析法や化学品製造、さらには廃水処理に至る幅広いプロセスにおいて、不可欠な技術です。本特別セッションでは、微量な分析技術や物質輸送の精密制御から、化学品製造プロセス、各種分離装置、廃水処理システムまで、分離技術が活用される様々なプロセスの研究開発をご発表頂き、分離技術の新たな可能性を展望します。

高速液体クロマトグラフィーを用いた円管内流れによるタンパク質凝集体の分離分析法
（日大・生産工）朝本 紘充

機能性化学品の連続フロープロセスの開発 ～連続反応・抽出・蒸留プロセスを例に～
（産総研）○石坂 孝之，福田 貴史，山木 雄大，（京大院工）外輪 健一郎

湾曲グラフェンから成る多孔体 Graphene MesoSponge®
（東北大・AIMR）西原 洋知

液化ジメチルエーテルを用いた化粧品原料の実用化
（アルビオン）○鳥井 昭吾，國廣 建斗，四本 健介，鈴木 章悟

月島機械の晶析・固液分離・乾燥技術に関する最近の取り組み
（月島機械）石井 究

排水回収システムと課題
（栗田工業（株））○川勝孝博，坂元絢子，鈴木瑞季，多田景二郎

質量分析を活用したオリゴマーの膜透過挙動の定量評価と化学構造との関係
（神戸大・工）○松岡 淳，小林 加奈，神尾 英治，（神戸大・科技イノベ）吉岡 朋久，
中川 敬三，（神戸大・工）松山 秀人

物質輸送を精密制御するスマートハイドロゲル
（信州大・繊維）Lee Ji Ha